

第 2 回 定 例 会

教 育 行 政 報 告

令 和 6 年 6 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会

令和6年第2回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 令和6年度における学校教育の状況について

まず始めに、令和6年度における学校教育の状況についてですが、4月7日に新小学1年生407名、新中学1年生463名を迎え、小学生2,648名、中学生1,444名でスタートしたところであります。

今年度の学校教育推進の重点につきましては、令和5年度からすべての中学校区で導入されたコミュニティ・スクールによる家庭・地域・学校等の連携を基盤とし、小学校と中学校の教育課程を繋いだ小中一貫教育の取組を通して、変動が激しく将来の予測が困難な時代において求められる資質・能力をより一層育むため、「持続可能な社会の創り手を育む教育」としたところであります。

2 学校適正規模・適正配置検討事業について

次に、学校適正規模・適正配置検討事業についてですが、4月13日に西部中学校、4月20日に西部小学校の各PTA総会参加者に対し、「西部地区における今後の小中学校の在り方についての検討方針」を説明したところであります。

今後、この検討方針を踏まえ、引き続き、施設一体型義務教育学校化について幅広い合意が得られるよう、丁寧に議論を積み重ねてまいりたいと考えているところであります。

3 学校における暑さ対策について

次に、学校における暑さ対策についてですが、各学校における

クールダウン拠点として、保健室等を中心としたエアコンの整備を5月中に終えたところであります。

また、各教室で使用するポータブルクーラーにつきましては、今後の暑さの状況に応じて対応できるよう、6月中に稼働準備を整えることとしているところであります。

4 北広島・サスカツーン交流連携事業に係る訪問団の受入について

次に、北広島・サスカツーン交流連携事業に係る訪問団の受入についてであります。4月3日から4月8日まで、カナダ・サスカツーン市から高校生16名、引率2名を受け入れたところであります。

訪問団は、ホストファミリーの協力を得てホームステイをしながら、市長への表敬訪問、エスコンフィールド HOKKAIDO の見学、そば打ち体験、北広島市の歴史学習や札幌日本大学高等学校の協力による学生交流など、様々なプログラムを体験したところであります。

この事業を通し、高校生とホストファミリーの交流はもとより、サスカツーン市と北広島市の友情の輪がさらに広がったものと考えているところであります。

5 ふるさと偉人マンガの完成について

次に、ふるさと偉人マンガの完成についてであります。寒地稲作成功150周年記念事業として、公益財団法人B&G財団の助成金を活用し、星槎道都大学美術学部の学生に依頼をして制作していただきました「100万石の志 中山久蔵物語」が完成し、4月25日に完成報告会を実施したところであります。

市内の小中学生に配付するとともに、図書館に配架し、一般市民へ公開

しているところであります。今後は、デジタル郷土資料として閲覧ができるよう準備を進めているところであります。

6 特別天然記念物野幌原始林保存活用計画の策定について

次に、特別天然記念物野幌原始林保存活用計画の策定についてですが、検討委員会で審議を経て、素案を取りまとめたところであり、5月18日、6月14日、30日の3日間で市民ワークショップを開催しているところであります。

この後、パブリックコメントを実施し、教育委員会会議での審議の後、文化財保護法に基づき文化庁に認定申請を行い、令和7年3月の策定を予定しているところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。